

岡谷小学校のあり方検討委員会「移転分科会」(要約)

第6回 岡谷小学校のあり方検討委員会 移転分科会 平成25年11月29日(金)

【意見要約】

- ・移転先希望としては、イルフ北側駐車場が良いと思う。旧山一事務所は敷地内に残し、駐車場全部が市有地ではなく面積が狭いので、校舎は上に伸ばせばいいのではないか。
- ・ラオカヤの空いている部分の活用もあるのではないか、校庭は駅南を利用して。
- ・(市所有以外の)個人への補償が必要になる。
- ・一番重要なのは子ども。ラオカヤだと、間下区の子どもが通えない。それなら近くの違う学校へ行くという話になる。
- ・(ラオカヤについて) 転用ができないわけではない。イルフプラザのように真ん中を空けた中庭形式にできないこともない。ただし、構造の補強等は出てくる。
- ・子どもたちの学校としての環境がそれでいいのか。体育館もプールもない。その辺りもクリアしないと。子どもにとって何が重要なのかを考えるべきではないか。
- ・安全でいい場所を示さないと、この分科会の存在価値はない。
- ・移転の話とは少し違うが、今の岡谷小の魅力は自然環境にあるので、移転する時点で岡谷小の魅力は半分以下になる。
- ・移転のメリットは、子どもたちが新しい学校で勉強できることや、岡谷小が残っていくことがある。デメリットは、建てるまでに時間がかかり、一旦は分散しなければいけないことがある。
- ・今の岡谷小ほどの自然環境がある場所を探すのは無理だと思う。
- ・自然と命のどちらが大事か。どうして怖い所に学校があるのか。
- ・市の説明を聞いても、絶対という場所がない。
- ・PTA アンケートで、ある程度危険を承知で現地にという声があるが、危険性については誰も何とも言えないので難しい。
- ・命をどのように守るのかという視点に立つことが必要。PTAは学校を残せと言うが、自分の子どもが卒業すれば岡谷小とは関わりがなくなる。これからの子どもの安全安心をどのようにしていくかが、現PTAの役割だと思う。ただ、残す、残さないではない。
- ・岡谷小の子どもたちは非常に良い。他の学校と比べて勝るとも劣らない。なぜかと言うと、先生達が熱心、地域が礼儀正しく良い、位置関係(広さや場所)が良いことがある。体育でアスレチックをやっている空間は、移転したら手に入らない。自然環境も良く、イルフ駐車場や駅南では手に入らない。他にも美術の関係で、岡谷小には登り釜があり焼き物ができる。そのような学校は他には無い。体力がつく、理科学習ができる、芸術ができる。このようなことは全て、周りの広さや環境によるもの。
- ・家から近いということも必要になる。自分が移転分科会に入ったのは、どこか良い場所がないかと思ったから。しかしよく考えてみると、イルフ駐車場は狭く、体力がつくアス

レチックもできないし、とんぼも飛んでいない自然環境。ましてや登り窯も作れない。

・駅南は、広さ、体力アップ、理科学習、登り窯などの環境面でも、通学距離でも課題は残る。

・都会には屋上に校庭がある学校やプールが屋内にある学校もあるが、そこまでして小学生をそのようなところに入れて良いのか。もし長野県にそのような学校を作れば笑われてしまう。

・岡谷小下のヨゼフ保育園近くに自宅がある。20 年前から、あの山が崩れてきたらどうなるかと考えることがあった。

・自然の力は恐ろしく、全てを科学技術で乗り越えることはできない。

・ララ岡谷はプールも校庭もない。イルフ駐車場は狭い。

・今後本格的に少子化を見据えた学校を作るのか、それとも暫定的に中間点に学校を求めるのか。

・自分は中央小を卒業した。中央小にあった物は神明小に移った。中央小は無くなったが、記憶に残っている。

・現地が公園などで残せれば、自然を学ぶ授業でスクールバスで行くとか、岡谷小の自然の良さは残ると思う。現地にいなければ自然を享受できないということではないと思う。

・現地を学校林として残したり、あかしあ釜を残したりすればいいと思う。

・避難場所にもなっている。

・事実が分かった以上、未来の子どもたちへの大人の責任として判断すべきだと思う。

・現地を地盤改良すれば、セメントの加重が乗ってもっと滑りやすくなると思う。下は水が出ていることもある。地盤改良することで、違う災害を生む危険がある。自然の力を抑えることはできない。自然との調和が大事。

・市にも沢山お金があるわけではない。

・現地存続は難しい。

・今の岡谷小の良さを引き継げる跡地利用が考えられればいい。

・岡谷小はこれまで140年続いてきたが、危険な所から移るという判断をしたということも今後の岡谷小の大きな伝統になるのではないか。

・あかしあ釜など良いものは残すが、学校本体は移す。伝統が受け継がれていけば、むしろ特色が残るのではないか。

・将来的な少子化を見据え、暫定的にどこか市の既存施設を利用することはできないかとも思う。

・残したいという気持ちはわかるが、子どもが犠牲になってはいけない。

・残せるなら残したいが、リスクが高すぎる。

・なぜ移転の分科会ができたかという、移転する場所があれば岡谷小は残るという前提で話が来ているので、移転場所が無いとすればどうするかという話をする。現地存続が良いのか、分散が良いのか。

- ・今の環境が無ければ岡谷小では無くなる気がする。
- ・自然環境がよい現地の跡地利用について、十分な検討が望ましいということが今日出た方向性の一つだと思う。
- ・跡地利用の話をする、怒られるかもしれないが。
- ・この分科会は移転が前提なので、それは問題ない。
- ・今の岡谷小は、自然環境、体力面、理科学習、芸術等でとても魅力ある場所なので、移転する、しないに関わらず、宝として活用を図っていくことも合わせて考えたい。

第7回 岡谷小学校のあり方検討委員会 移転分科会 平成25年12月20日（金）

【意見要約】

＜将来人口推計について＞

- ・小学校を運営するため必要な児童の限界数、1つの学校に120人は欲しい。あまりに少ないと、複式学級（2つ以上の学年を1つにした学級）になってしまう。
- ・岡谷小は現在270名、平成52年には単純計算でかなり限界まで児童が減ってしまう。このままいけば、市内の他の小学校でも同じ状況に行き着くということ。
- ・マンションができた分、何とか今の人数を保っているのだと思う。
- ・考えなければいけないことは、将来的に人口が大きく減少することを踏まえて、まちづくりを行うこと。どのように教育に力を入れていかなどを考えていくべきだと思う。
- ・将来的には今8つある小学校を集約し、学区も見直すが必要になると思う。
- ・人口減少が見込まれる中、子どもたちが良い教育を受けられるように、教育環境や教育そのものをどのようにして、充実させていくかを考えていくことが大切ではないか。
- ・平成52年には、明らかに現状の形では学校を維持できないことを数字が示している。これは岡谷市全体の問題。
- ・人口が減る中で、子どもたちの教育をどのようにしていくか、むしろこちらの議論の方が大切だと思う。どうすれば、まち全体が活性化して、子どもたちが良い環境で勉強していけるか。
- ・諏訪地域に教員や医者等の学歴がある人が少ないのはどうしてかという、小中一貫や中高一貫といった学校が無いことが問題とのこと。お金に余裕がある人やある程度社会的に地位がある人は、いい教育を受けさせるために子どもをこの地域に残そうか、あるいは他の地域に移そうかを考えているようだ。ここで清陵中学校ができたのも、そのような背景があるからだ聞いた。
- ・筑波研究学園都市は、教育環境のレベルが高く、そこで子どもに教育を受けさせたいと、外から人が移っていると聞いたことがある。
- ・周りが一生懸命勉強すれば、他の子どもも刺激を受けてぐんと伸びる。
- ・一貫校とは言わなくても、子どもたちが刺激を受けて頑張れるように学校の適正規模と

いうものはあるのか。

・規模の問題もあるが、教育の中身が大事になる。どのような教育を目指していくのかについて話し合うことの方が大事。未来の子どものために、一刻も早くそちらの議論に移らないと、岡谷市全体の教育が負けてしまう。

・特色や魅力ある学校づくりの議論を深めていった方がよいと思う。岡谷小は自然環境など魅力が沢山ある。それをどのように活用して、どのような教育環境を理想とするのか、そちらにお金をかけていくことの方が理想的と思う。

・1学校あたり120名は欲しいと言った訳は、120名いると1学年20人ということ、6年生になると児童会長や副会長、他に委員長になっていく。これが1ケタの人数では学校をリードしていくことができない。1学年20名くらいは欲しい。

・岡谷小の児童が良いのは、先生達の姿勢、岡谷小は全県の中でも授業研究に力を入れており、県内の先生達の多くが岡谷小の授業参観に来ている。

・このままいけば人口が減り、現状の体制は維持できなくなる。将来を見据えた時に、今は一旦分かれておいて、その先の目標として、将来的には市内の学校をこのような形にするんだという方向の中での一過程として捉えることも一つの考え方ではないか。今はその途中の段階であると捉えて、市としても将来に向けて、教育環境の向上について考えていくという方向がいいのではないかと思う。

・いずれにしても、イルフプラザ駐車場も駅南も面積が狭い。岡谷小の跡地は、自然学習ができる場所として位置づけて、充実させていくこともありではないかと思う。

・いい場所だからこそ、どのように活かしていくかだと思う。

・岡谷市内の全部の学校が利用できるような場所になればいいと思う。

・そのようなことができれば、魅力がある統廃合の一環になるのではないでしょうか。

・市内を見渡していくと、諏訪湖ハイツ周辺はいくつもグラウンドがあり、南高、湖もあり、あの辺りを学園ゾーンとして大きく統合していくなどの教育環境の整備ができれば、湖に近い学校や山に近い学校など、全市的な形でまちづくりができるのではないかと思う。

・結局、教育が大事。子どもは未来の宝。いかに子どもを教育していけるかだと思う。

・聞いた話だが、日赤の医者が諏訪に赴任してもすぐに出て行ってしまうのは、諏訪地域は教育環境が劣るからとのこと。先生が単身で来るのも、子どもが医者を継いでいけるレベルの学力がここでは付かないからだ。

・勉強ができて、英語ができて、コンピューターができて何でもできるような人でないと、今は医者としてやっていけない。

・岡谷市全体を眺めてみた時に、どの辺りに学校があれば良い学習環境と言えるのかを考えて、統廃合を進めていく方向になるのかなと思う。まちづくりをどのようにするかを合わせて考えながら、その途中経過で学校の統廃合は避けられない気がする。

・偏差値が下がっているとはいえ、諏訪清陵が諏訪地区のトップ校であることは間違いなし、昔は山の中学から来ている子、上諏訪の子、岡谷の子ではそれぞれ意識が全然違った。

要するに地域の意識というものは非常にある。今岡谷は、美術館をつくって文化レベルを上げたいと一生懸命やっているが、どんどんその方向にしていけないと、子どもは少ない、学力は他市町村に比べて落ちるでは、ますます岡谷の魅力が無くなってしまう。

＜移転候補地の資料を説明して＞

・イルフプラザ駐車場がいいと思った理由は、将来的に学校の統廃合を見据えた時に、位置的にこの辺りに学校があれば、ちょうど良いのではないかと思ったからです。

民有地の全てを学校用地として使うことができればよいが、その場合でも旧山一林組事務所は残ることになるが、岡谷の製糸の歴史が分かる建物が学校敷地内にあることで特色が出るのではないかなと思った。ただ、地権者との関係が出てきますので。

・イルフプラザの平面駐車場が無くなると、イルフプラザ自体がだめになってしまう。

・一旦は分散になっても、将来的な方向性を見て、準備できることは可能性を広げていくということだと思う。

・広い敷地が無ければ、山校と下校に分かれていた昔のように、低学年はここの学校、高学年はここの学校というように、分かれるのはどうだろうと話す人もいる。

・人を見て育つということは沢山ある。

・今の岡谷小も上級生が下級生の面倒をよくみていて、非常に良いことだと思う。6年生の姿に憧れて5年生が頑張ろうとしているという話を先生からよく聞く。

・(民有地を買い上げるということ) 地権者にどいてもらうには、それなりの方向性を持たないうちに話はできないと思う。

・市内の学校の中で一番小さい湊小でも、敷地面積が19,490㎡ある。そうすると、13,500㎡は決して広くない。駅南は、市有地面積に街区公園を加えて学校用地とすることは可能か。公園は地域の人も利用できるようにして。

・土地区画整理事業の目的を示した上で、地権者の了解を得て進めてきた事業ということ。

・移転できればと思っていたが、全然望みが無いとすれば、どこかの学校と統合せざるを得ない。30億と7年かけて現地存続することは現実的ではないから。

・30億と7年かけても、完全に安全とは言えません。

・物には何でも限りがあり、無限にお金をかけては本当に岡谷市が潰れてしまう。

・岡谷小だけにお金をつぎ込むことには、他地区の市民が黙っていないのではないか。

・他の学校の修繕や学校運営には、お金をかけなくてよいのかという話になってしまう。

・今までの議論は、単に学校を現地に残すか、残さないかに終始している。本当に大事なことは子どもであるのに、子どもの話ではなくて地盤の話ばかりをしている気がする。

・今回の件は、将来を見据えて、学校づくりをどうするかを考えるきっかけになればいい。

・将来的にはそのことを含めて、市に学校の統廃合を考えてもらうということだと思う。

・ただ同規模の土地を探して移転しようでは、将来に対して何の意味もないですから。

・夢をもってまちづくりや教育をどうするかを考えていきたい。

- ・まちの真ん中に学校がある所もあるが、とんぼ一匹も飛んでいない。イルフプラザ駐車場に今さら木を植えても何年かかるか。せめて駅南はどうかと考えたが難しい。
- ・時代を経るに従って、色々な見直しが必要になってくる。次の手を打っていかないと、どんどん優秀な子どもたちが外に出て行ってしまう。
- ・(通学距離が) 2 k mの範囲だと、岡谷小の周辺の小学校が適当な距離の中に入ってくるので、岡谷小の学区の子どもたちは、周辺の学校に通えるくらいの距離にあるということ。
- ・岡谷市は学校同士が近いところにある。
- ・将来的にはどこか適当な場所に大きな学校を建てるということも出てくる。
- ・学びの環境や教育の充実を図ることが、地方都市の活性化の1つの大きな要因になると思う。今後まち全体を活性化させていくためには、学校の統廃合は避けられない。一気に進めることはできないので、ステップを踏みながら、将来の理想的なまちづくりをどのようにしていくかを合わせて考えていくことが必要になるのではないか。
- ・移転先について議論して、2つの候補地についても、民有地の買い上げについても、なかなか難しいとしか言えないということ。このような意図でここに移転先が決まりました、と言えれば話は進みますが、なかなかそうはいかない。

第8回 岡谷小学校のあり方検討委員会 移転分科会 平成26年1月31日(金)

【意見要約】

- ・中央町駐車場ですが、利便性が良いこの場所が無くなれば、買い物に行く人がいなくなってしまうと思う。小学校はいいかもしれないが、その他の市民全体が困ってしまうことになる方がむしろ問題ではないか。違う問題が出てくる。
- ・他の市民がどう受け取るかという点は、検討内容に入れるべき、そう考えると、この場所が良い、ちょっと良くないとかになると思う。
- ・現地存続についても、費用対効果の面で30億円というお金をかけることに他の市民全体が許すのか許さないのかということも考えるべきではないか。
- ・議論の方向性をもっと全体観に立つべきだと思う。それぞれの分科会がそれぞれの結論を出しても、予算執行について議会で否決されたら、今まで何の議論をしていたのかという話になる。筋を決めていかないと、いたずらに時間だけが過ぎてしまう。
- ・検討資料の中に、概算事業費の項目がある。多額のお金はかけられないのではという話になれば、この場所は○とか×という話になるのではないか。
- ・このようなことを検討したということをもとめればよいと思う。移転場所として良いか悪いかという結果の部分は、検討した上で出てくる話だと思う。

<中央町駐車場について>

- ・どういう学校を望むかだと思う。学校さえできればそれで良いのかということだと思う。

・中央町駐車場が無くなることに対する反対も出ると思う。昔東急ができる時に、中央通りの店が違う場所に移ったが、移転先でうまくいかずに、店をたたむことになった例がある。そのような面からも、現在ここに住んでいる人たちが生きていけるかという話にもなる。平面駐車場の利用を見込んで生活している人もいるのではないか、そういう人たちに誰が責任をもつのか。

・説明の中で、新校舎の建設までに4～5年かかるという話、その間、現在地で岡谷小は継続していかないということか。用地費に4億～5億円とあるが、これは用地買収をした場合にかかる費用ということか。校舎6階建てとあるが、プールや小体育館を校舎の中に入れるということは考えられないか。

・プレハブの仮設校舎を建てるのと、現校舎を仮校舎として使用するはどちらが丈夫か。

・地盤は中長期的には危険という話だが、4～5年位なら大丈夫ではないか。4～5年間の利用と期限を決めて、あくまで仮設校舎としての利用とするならどうか。プレハブ校舎よりも丈夫ではないか。

・ラオカヤを仮設校舎に使えないか。あくまで新校舎が建つまでの使用ということで、既存施設が使えれば、予算的にも良いだろう。

・イルフプラザも、今そこで学習している人たちをどこにもっていくかという話になる。

・旧山一事務所は仮校舎に使えるか。

・周辺の公共施設の活用は難しいのでは、1～2ヶ月の利用ならともかく、4～5年使うにはどの施設も相当に手を加えないといけない。

・そもそも、現在それぞれの施設を使っている人たちが賛成しないとできない話です。

・中央町駐車場は周辺民地を加えれば、校庭やプール、小体育館も確保できるということでもいいか。

・費用はかかる。それなら、校庭とプールと小体育館だけを既存の公共施設にバスで通うようなことは、学校が授業を組むうえでできるか。

・今でもスケートの授業はやまびこへバスで行っている。毎日の話となると学校が大変。

・昔自分たちが子どもの頃は、岡谷小から神明小まで歩いてスケートに行ったが。

・学校が授業のカリキュラムを組めなくなる。それだけで半日かかってしまう。

・プールの建設や維持管理費用を考えれば、市民プールが使えるかもしれないが。

・諏訪市の例は、中学校の話ですよね。中学校ならいいかもしれないが、小学校にプールが無いわけにはいかない。

・イルフプラザの1階にゲームセンター、中央町にもパチンコ店がある。学校はよくても、今あるパチンコ店が改修して建替えようとした時にできなくなってしまう。

・パチンコ店からすれば、学校が後から来たのに何を言っているのかという話になる。

・中央町駐車場は昼間埋まっていて、それを無くして立体駐車場に止めて買い物に来るかと言えば、そうはならないと思う。利用している場所を活用するのは難しくないか。

・敷地面積の不足という課題に対する対策として、「校舎の高層化（6階建て）」は×です

ね、次に、必要面積の確保について、用地費に4～5億円は△です。なぜなら、用地交渉が長期化するためです。事業期間ですが、新校舎建築までの4～5年間で周辺の学校に行かせることは×だと思う。残りの、場所、通学距離、学校規模は○だと思う。現在の土地利用と考え方は△だと思う。なぜなら、市民の同意が必要になるからです。地域の特色については○だと思う。教育的見地からの考え方については完全に×です。小学生の時代は、昆虫や植物に非常に興味を持つ時代で、美術館でも酒蔵でもない。成長していけばまた変わっていくと思うが。そうすると、地域の特色と教育的見地からの考え方のどちらが大切かを考えると、教育的見地の方が大切だと思う。それがこの場所は×です。小学生の時代に昆虫や植物に触れるというようなことを考えないのであれば、この場所でも良いというような条件での話になると思います。

・校舎建設の間、児童が分散するとなれば、その段階で岡谷小は解体みたいになるが、その状態でも、校長、教頭、担任を置くことはできるのか、無理ですね。その段階で実体が無くなってしまうので。

・分散となれば、とりあえず分散して、校舎ができたならまた集合するわけですか。そうすると、先生達の配属はどうなるか。

・その場合は、岡谷小学校ができるまでの間、教頭職を一人置いておくと思う。

・子どもたちからすると、例えば、4年生か5年生になって新しい学校ができた時に、卒業までの残りの期間をそこに行くかと言えば、そうはならないのでは、そうすると新しい学校が始まる時には、クラスが埋まらないことになるが。

・友達関係もある。

・一旦分散すれば、また、その場所に全員で戻りましょうとはならないのでは。

・岡谷小がみんなでどこかに移転して、みんなで戻ってくるようにするならば、全12クラスを受入れるようにしないといけない。そうではなくて一旦分かれるなら、もう一度みんなが集まるということはないのでは。

・移転するにしても校舎ができるまでの間、みんなで動かなければ、歴史が空白になる。

・一時的に他の学校を間借りして、みんなで移動して、みんなで戻ってくるような、これは現地存続にも言える。

・前回のよう、あり方検討委員会の中でやりあうようになってしまうのは良くないと思うので、○の部分を作っておかないと難しいと思う。

・○の部分を作って全体会にもっていった方がいいと思う。前回の全体会は、今日話をしたような内容を聞いたかったと思うので。

・そうすると、民有地を買収すればという条件付きで話を持っていくことになる。

・よく分からないのは、昔中央小が無くなったわけで、現実的に学校が無くなるということはある。学校の名前を残したいのか、環境を残したいのか、その辺りが見えない。学校を残したければ、分散はありえないし、移転も区内しかありえないことになる。

・今、神明小に中央小の物が置いてあるが、今となればそれを残しておいて何になるのか

と思う。過去のことであって、今必要なのかなと。

- ・用地買収の前に、市有地面積だけでどれだけの学校ができるのかも検討したい。
- ・学校を小さくても残したいという考えに果たしてどのような意味をもつのかと思う。
- ・中央町駐車場は、旧山一事務所があるので、実際には7, 800㎡全部を使えるわけではないのでは、保存対象の建物なので、それはそれとしてそのまま置いておいて。
- ・たとえ1クラスの学校だとしても、職員室、理科室、家庭科室等は必要になる。
- ・6階建ての校舎を建て、その中にプールや小体育館を入れれば移転はできるけれど、課題は残る。

- ・建設コストは15～18億円ではなくて、20何億とかになると思う。
- ・都会ならまだしも、それで良いのか。
- ・例えば6階建ての校舎はできるが、プールと小体育館はどこかに通うということ。
- ・こういう形ならできるという案を出した方がいいと思う。
- ・市有地面積だけを考えると6階建てだけど、周辺民地を確保できたら現在の規模の学校ができるという流れがあればいい。ただし、この人の敷地を入れればできるとは絶対言えないので、あとこれだけ面積があると現在の規模の学校ができると言えれば良いと思う。民有地が本当に買収できるかは別の話。

- ・民有地を買収するなら、敷地面積の不足への対策は×が○になる。必要面積の確保についても、難しいけれどもできてしまえば○になる。
- ・用地買収するための期間はかかるということが付くと思う。
- ・太鼓祭りも他の場所でやるとか、防災公園も別の場所を利用することもあると思う。
- ・太鼓祭りも昔は別のところでやっていた。
- ・それでも、小規模校だから校庭は狭くていいというわけにはいかない。
- ・何10億円もかけて中途半端な学校を建てる意味もないと思う。学校は残るかもしれないが、教育的な成果が出るか。

- ・この場所でも建物はできるかもしれないが、いろいろな課題が残ることだと思う。
- ・この場所に統合校を建てるとしたら、岡谷小と小井川小の統合校になるか。
- ・田中小じゃないか。
- ・この場所よりも、田中小の方が広いので、狭いところに統合することはない。
- ・そうすると、小井川小が田中小とこの場所に分散するのか。
- ・通学区の再編の話になってきたが、今回は緊急性がある話なのでそこまで待てない。
- ・この場所は、統合校の用地としては適さないということだと思う。

< 駅南敷地 >

- ・駅南なら、来たいという人はいるのでは。川岸の人とか。
- ・ただ、それだけの周辺の環境があるかと言えば無いのでは。校舎はあるかもしれないが。
- ・用地買収ができる可能性は、中央町駐車場よりも低い。パチンコ店があるので。

- ・用地買収は難しく小規模校になる、それでも議論するのかという気がする。

<成田公園>

- ・(敷地が) 分かれてしまっている。
- ・校舎を高層化せず、例えば3階と2階の校舎みたいに段にして建てることはできるか。
- ・校庭の確保が難しいと思う。
- ・校庭を斜面で造るのか。そんな校庭は見たことがない。
- ・この場所だと、校舎建築に造成期間が加わるので、7～8年はかかる。
- ・招魂社を動かすのは難しい。21区が関係している。
- ・1,000柱を越える人が祀られていて遺族会もある。移動させるのは本当に難しい。
- ・学校の近くに神社があってもいいと思う。
- ・道が1本しかないのでアプローチが難しい、側道から道をひけないか。
- ・金がいくらでもあれば、何だってできる話だと思う。
- ・市街地の話の買収よりも、こういう方がまだ検討に値する気がする。
- ・新屋敷区から通うとなると大変になる。

第9回 岡谷小学校のあり方検討委員会 移転分科会 平成26年2月28日(金)

【意見要約】

<市有地面積による整備案について>

- ・(小学校施設整備指針について) 国の指針は大事に考えなければいけない、根拠になる部分だと思う。何でも良いのでお金をかけて、例えば10階建ての学校を建てれば良い、というような議論の以前の問題だと思う。この指針に抵触するかしないかの検証も必要。
- ・(指針には) 射幸心を刺激する不特定多数のものが出入りする娯楽施設が学校の近くにあることは、教育上ふさわしくないといあるので、中央町駐車場はどうかという議論になると思う。判断するために指針を当てはめて考えることで、この場所が良いのかそれとも難しいのかの根拠や理由になると思う。そうしないと、ただこの場所に建てれば良いという意見とぶつかっても話がまとまらないと思う。
- ・比較検討資料に○×△を付ける時に今の議論を参考にしながらやるのがいいと思う。
- ・現実的に、駅南地区の校舎を見ますと、5階建てではなくて6階建てにしないと通らない。体育館の上に特別教室棟が乗っていますが、構造計算を通すには極めて難しい、6階建てにならざるを得ないと思う。
- ・体育館の上に特別教室棟が乗っているが、構造計算上では難しいと思う。そうすると、5階の上に特別教室を乗せると6階建ての建物になる。
- ・体育館の空間が広すぎて、上が支えられないということですね。
- ・そうです。やるとなれば特殊構造になるので、23億円ではとても足りないですし、確

認申請を通すのに1年位かかるのではないかと思います。計画には無理がある気がする。

・素人考えですが、プールを室内に入れることについても、管理上、寒冷地においてはどうかと思う。

・いずれにしても、これだけ無理をしなければ、校舎が収まらないということだと思う。

・諏訪地域でプールが室内にある学校は下諏訪中学校がそうです。閉開式の一応屋内になります。ただ、下諏訪中学校は事情があるからです。

・茅野北部中学校も開閉式のプールだった気がする。

・ビルの中にプールが入っているわけではないので事情が違う。

・いずれにしても、ビルの中にプールを入れるように無理して計画しないと、駅南地区と中央町駐車場では収まらないということ。

・成田公園の方がまだ現実的なのかと思います。造成しないで、下から柱を上げて建てる方が、高層化した建物よりもまだ現実的だと思います。

・駅南地区と中央町駐車場は、それでもよく校庭がそれぞれ3, 200㎡と3, 700㎡とれたものだと思う。

・用地買収になれば、それこそ絵に描いた餅です。

・東堀保育園の土地はよく買収できた。

・現実を使用している場所を買収となれば、市民の理解を得ないと進まないと思う。

・中央町駐車場は、旧山一事務所を残すとなれば、校庭は2, 000㎡くらい取れるかどうかだと思う。旧山一事務所を壊すことが現実的かどうかの話になると思う。

・ボウリング場があり、ゲームセンターがあり、カラオケがあり、こんな場所でもいいのか、と思う。

・授業でボウリングをやるのもいいかなと思ったが。

・ボウリング場は悪くはないが、遊び場が多いということは変わりません。

・イルフプラザの3階か4階のジャズダンスをやる所で、音楽の授業をやればいいかなと思ったが、道を挟んで移動することも、安全上や学校の管理上もよくない。そうなると、指針からどんどん離れていってしまう。

・酔っ払った人が入って来てしまうとか、子ども達が戻って来ない可能性もある。

普通なら、繁華街に学校を建てることは避けると思う。

・中央町駐車場とイルフプラザの間の道（市道）を無くすことはできるか。

・市道に接道している地権者との関係もでてくる。八十二銀行も移転するので、売りに出るのではないかということもあるようですが、イルフプラザとの綱引きになりますかね。駐車場が狭いので、イルフプラザとしては、駐車場を広くしてほしいと思っている。

・校舎を5階建てではなくて、3階建てにしたらどうなるか。

・4、5階分が平地に降りてくるので、校庭が取れなくなるということ。それも、校舎の配置を通気や日照の問題を一切考慮しないで考えても校庭は限られる。中央町駐車場は、指針通りに3階建てにするとしたら、旧山一事務所があるので、校庭は取れないというこ

と、なので、校庭を使うには、用地買収するか、他の小学校を借りるか、今の岡谷小の跡地を使用するかになります。それが、運営上、現実的かどうかは別として。

- ・(旧山一事務所の解体は) 産業遺産なので難しいと思う。当然、市民がどう思うか。
- ・岡谷の歴史を消していいなら別だと思いますが。
- ・(移築は) やろうと思えばできるかもしれませんが、歴史的な建物になりますので。
- ・新しくできる蚕糸博物館の敷地にもっていけばいいかと思って。
- ・そのようなことが都市計画ですよね、どのようなまちづくりにしたいかという。
- ・歴史的な価値がある建物なので、移築するときに何かあれば補修が必要になる。
- ・岡谷は歴史的な建物を壊し続けてきたと思う。本当に残さなければいけないと思うなら、募金を集めてでも残すべきだと思う。赤レンガの倉庫が残っていれば、シルクのまちということで、本当に素晴らしかったと思う。
- ・5階建てを3階建てにすれば、費用は安くなりますか。
- ・1階の基礎面積が増え、屋根が付くことになりコストアップの傾向はある。
- ・3階建てにしても、隣接する場所を買収して校庭を確保することを考えると、コストはどんどんかかってくることになる。
- ・そもそも買収ができるかどうかの問題があるので、具体的な計画が立てられない。
- ・岡谷市の財政状況を考えても、多額のお金をかけることがいいのか。
- ・指針通りに3階建ての校舎にしても、今度は校庭を確保するために隣接地を買収する必要が出てきますよという負の要素が出てくるということです。
- ・指針に沿って、校舎を3階建てで考えると、中央町駐車場は校庭確保のための用地を買収しなければならいので難しいとなる。駅南敷地では、校庭と呼べるかは分からないけど、2, 0 0 0 m²ぐらいは取れるがどうでしょうか、ということになると思う。
- ・プールは無くてもいいのではないか。スケートみたいに一時的なので、どこかに通えば。
- ・プールの無い小学校は見たことがない。
- ・何を残すか。学校の名前だけ残してもしょうない。

<比較検討資料について>

- ・(中央町駐車場の用地買収は) 用地買収が可能であればという条件付きで○ということでしたので、最終的には△になると思う。
- ・用地交渉が長期化するというので、△で良いと思う。
- ・もう1項目、少子化を見据えてこの先統合を考えた時に、敷地としてキャパがあるかどうか、狭いということであれば×、周辺を買収できるなら○ということになると思う。
- ・将来性ということですね。
- ・統合して学校規模が大きくなった時に、学校敷地として耐えられるとか、学校として活用できるキャパがあるかどうかということ。
- ・税金を投入するわけだから、統合しても成り立つくらいの規模を考えておかないといけ

ないということでは。

- ・現状のままでは×、用地が買収できれば○ということになる。

- ・将来性の中には、面積だけではなく、教育的にどうかということもあると思う。この場所は、とんぼも飛んでいない所で、全体評価とすれば、私はこの場所は用地が買収できなければ×、買収ができたとしても△だと思う。

- ・駅南敷地の「敷地面積」は×。「必要面積の確保」は、用地買収ができれば△、できなければ×ですが。パチンコ店の買収ができるかどうか。補償費が莫大になる。

- ・用地買収ができるという条件付きで、△になる。

- ・「想定される事業期間」の、新校舎建設までの学校運営は、4～5年の間、分散ができるのであれば△、できなければ×。「場所」と「通学距離」と「学校規模」は○か。

- ・間下区が神明小に行くことになれば、「通学距離」と「学校規模」は、△になるか。

- ・「現在の土地利用と考え方」は、駅南敷地は今まで市民の協力を得て生み出された土地であることを考えると、○にはならない。「地域の特色」は、○だと思う。

- ・「教育的見地」は中央町駐車場よりは良いかもしれないが、△ですかね。ここはパチンコ店があります。

- ・駅南敷地に学校を建てるなら、パチンコ店に補償してどいてもらわなければいけない。

- ・事業費に31億かかるとすれば、現地を地盤改良して建てる場合と同じくらいお金がかかることになる。だとすれば、岡谷市の財布から出すのは厳しいと思う。

- ・将来性については、土地が買えなければ×、買えたとしても△か。

- ・成田公園は、平地面積の合計が約7,100㎡だけど、斜面を無視して全体で考えれば面積は取れるということ。

- ・ただ、面積が取れても土地形状を考えると「敷地面積」は、△か。

- ・学校によっては、校舎と校庭が段々になっている所もある。

- ・校庭をどうやって確保するかだと思う。

- ・招魂社はどうするか。

- ・敷地に残して、学校を建てるということですかね。

- ・そうすると、「必要面積の確保」は○になりますかね。

- ・「新校舎建設までの学校運営」は、4～5年分散できるとするなら、△ですかね。

- ・「場所」は○ですね。「通学距離」は新屋敷区も2kmに入る。

- ・道が無いので遠く感じる。道を造らないといけない。

- ・道を造ることが一番難しいと思うので、△と思います。

- ・「学校規模」は○ですね。

- ・「現在の土地利用と考え方」は○でいい、環境は岡谷小に似ている。

- ・「地域の特色」も○でいいと思いますが、

○でいいと思います。「教育的見地」も○でいいと思います。

- ・「事業費」はどうですかね。造成費用が別にかかり概算費用は△ですね。

・造成しないで、柱を立ち上げて学校を建てれば、造成費用はかからない。太鼓道場を音楽室に利用したり、授業で太鼓をやるとか。

・ここは道が1本しかない。いずれにしても、道を造ることは大変なことだと思う。

＜小学校施設整備指針への適合について＞

・「洪水、高潮、津波、雪崩、地滑り、がけ崩れ、陥没、泥流等の自然災害に対し安全であることが重要である。」に対しては、どこも急傾斜に指定されていないので、3箇所ともに○と思う。

・「建物、屋外運動施設等を安全に設定できる地質及び地盤であるとともに、危険な埋蔵物や汚染のない土壌であることが重要である。」はしっかり調査してみないと分からないので、3箇所とも評価できない。

・「危険な高低差や深い池などが無い安全な地形であることが重要である。また、敷地を造成する場合は、できるだけ自然の地形を生かし、過大な造成を避けることが望ましい。」は、中央町と駅南は○、成田公園は△。

・校庭を造るには、土地を削らないといけない、今の岡谷小と同じような危険があると思う。

・大規模に造成することで、山が動くとかいろいろ影響が出てくる可能性がある。

・そうすると、×じゃないか。いずれにしても、造成しないとできない。

・×ですね。大規模な造成になるので、予測がつかない。

・指針をみると、×だと思う。

・「周辺はできるだけ広い範囲で一定幅以上の道路に接することが望ましい。」は、中央町と駅南は○で、成田公園は×だと思う。

・「現在必要な学校施設を整備することができる面積であることはもちろん、将来の施設需要に十分対応することができる面積の余裕があることが望ましい」は、中央町と駅南は×で、成田公園は△。

・「頻繁な車の出入りを伴う施設が立地していないことが重要である。」は中央町と駅南が×で、成田公園が○。

・「風俗営業等の規制及び業務の適正化に関する法律（昭和23年法律第122号）条に規定する風俗営業及び性風俗特殊営業の営業所が立地していないことが重要である。」も、中央町と駅南が×で、成田公園が○。

・「射幸心を刺激する娯楽を目的として不特定多数のものが出入りする施設が立地していないことが重要である。」は、中央町は×、駅南は△、成田公園は○。

・「隣接校の学校規模及び通学区域並びに関連する中学校の通学区域等との適正な均衡を保つことができることが望ましい。」は、3箇所とも○でいいのでは。

・「地盤状況を適確に把握し、災害時等の安全を確保することができるよう各施設部分を配置することが重要である。」は、中央町と駅南は、敷地が限られていて配置ができないので、×で、成田公園は△ではないか。

- ・配置を考えるほど敷地がありませんので、そうなる。
- ・「将来の各施設部分の施設機能，施設需要等の変動に応じ，各施設部分の配置を変更することも可能な柔軟な計画とすることが重要である。」は，これも中央町と駅南は×で，成田公園は△だと思う。
- ・「各施設部分について，それぞれの必要とされる機能，利用形態等に応じ，適切な日照，通風その他の自然環境を確保できるよう配置することが重要。」は，中央町と駅南は×，成田公園は○。
- ・「建物の敷地は，盛土部分並びに異なる地質及び地盤条件の混在する部分にまたがらず，かつ，土砂の流出するおそれのある部分に近接していないことが望ましい。」は，中央町と駅南は○で，成田公園は×。
- ・「校舎等は，3 階以下の建物として計画することが望ましい。」は，中央町と駅南は×，成田公園は△。
- ・「校舎，屋内運動施設等の周囲に，緊急時の避難，施設の維持修繕等に必要な一定の空間を確保することが重要である。」は，中央町と駅南は×，成田公園は△。
- ・「緑地の効用を考慮し，維持管理に十分留意しつつ，校地面積に応じ，できるだけ広く確保することが望ましい。」は，中央町と駅南は×，成田公園は○。
- ・「施設全体が環境教育の教材として活用されるよう計画することが望ましい」も，中央町と駅南は×，成田公園は○。
- ・「学校施設を高層化する場合にあっても，普通教室を高層階に設けないよう計画することが重要」は，中央町と駅南は×，成田公園は○。
- ・「学校施設を高層化する場合は，児童の教育活動が制限を受けたり，支障を生じないように計画することが重要」は，中央町と駅南は×，成田公園は高層化をしないので，評価なしになる。
- ・「都市化の進展等に伴い，学校施設を高層化する場合には，非常時の避難，上階からの転落・落下物等に対し配慮した施設計画とすることが重要」は，中央町と駅南は×，成田公園は評価なし。
- ・「特に，学校施設を高層化する場合には，日常的な移動，地震・火災等の非常時の非難，教材・教具や給食物等の運搬方法等を考慮し，階段・昇降機等の設置の数，位置及び形状等を計画することが重要」は，これをやらないと計画できない，中央町と駅南は○，成田公園は評価なしになると思う。
- ・成田公園に一番○が付きましたが，上っていく道が無い。安全性の確保から避難路が必要。
- ・何かここまでくると，やまびこ公園という話もありますね。
- ・面積はいくらでもある，グラウンドはもちろん，プールもできるだろうし。
- ・お金さえあれば何でもできる話だと思う。
- ・指針がとても心強く，勉強になりました。
- ・指針を全て満たしている学校なんて無いのではないかな。